

新編集委員のご紹介

新しく『心理学ワールド』の編集委員となった5名の方に、自己紹介や抱負を述べていただきました。

(氏名の五十音順で掲載)



大江朋子 (おおえ ともこ)

帝京大学

専門は社会心理学。その時々々の環境に潜むちょっとした情報や、身体でなんとなく感じ取った情報が、意外にも多様な行動に影響することに関心があり、社会的認知や身体性認知を研究しています。『心理学ワールド』の編集は「楽しめる!」という噂を聞き、これまで以上に心理学を楽しもうと思います。



金井嘉宏 (かない よしひろ)

東北学院大学

専門は臨床心理学です。主に社交不安症の認知行動療法について研究してきました。最近、利他的・向社会的な行動が不安や抑うつを抱える方の生活の質に及ぼす効果に興味を持っています。委員を経験された複数の先生から「この委員会は楽しい」と伺いました。楽しい雰囲気から生み出される柔軟な発想に貢献できればと思っています。



北崎充晃 (きたざき みちてる)

豊橋技術科学大学

バーチャルリアリティやロボットを用いて身体を透明にしたり、指を腕にしたりする身体編集を研究しています。新しい身体を得て、私たちの心や社会がどう変わるかを調べ、未来を設計することを目指しています。終わらない夢のような世界を輝く未来にすることができるかを考える機会にしたいと思います。



後藤和宏 (ごとう かずひろ)

相模女子大学

学習心理学・比較心理学が専門で、ことばを話さない動物におけるメタ認知・エピソード記憶などの顕在過程に関心を持っています。私は『心理学ワールド』を読むのを毎号、楽しみにしてきました。この編集を通じて、心理学という学問の面白さと奥深さを皆さまに伝えるお手伝いができれば幸いです。



清水由紀 (しみず ゆき)

埼玉大学

認知発達が専門です。特に北米の研究者と一緒に、道徳理解や特性理解における、日米の子どもや大学生の違いを調べています。『心理学ワールド』では、日常の中の心理学にかかわる「なぜ?」を、時にはストレートに、時には思ってもみないようなユニークな角度から、解き明かしていけたらと思っています。

編集後記

心理学という学問の中には様々な異なる興味や立場が同居しています。今回の特集では「罰」という一見単純なテーマを取り上げましたが、社会の中の人間から実験室のネズミまで、薬物依存という現実場面での問題行動から脳の構造の変化まで、多彩な観点から研究が行われていることがわかりました。一つのテーマを様々な分野から切り取ることができる多彩さ、懐の深さが、心理学という学問の魅力の一つかもしれません。(漆原宏次)

編集委員 (五十音順)

編集委員長
副委員長
委員

川口 潤	名古屋大学
大久保 亜	専修大学
漆原 宏次	北海道医療大学
大江 朋子	帝京大学
金井 嘉宏	東北学院大学
河原 純一郎	北海道大学
北崎 充晃	豊橋技術科学大学
後藤 和宏	相模女子大学
清水 由紀	埼玉大学
下津 咲	京都女子大学
且 直子	帝京科学大学
手塚 洋介	大阪体育大学
担当常務理事 宮 谷 真人	広島大学

心理学ワールド [80号] 2018年1月15日発行

年4回発行 (1月, 4月, 7月, 10月)

発行人—横田 正夫

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—新日本印刷

制作—(株)新曜社